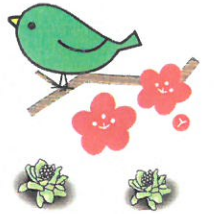




寿光園だより

第 0060 号
平成28年3月 発行
制作:寿光園広報担当
<http://www.jyukouen.or.jp/>



赤肉宴席とお雛様

梅もほころぶ暖かい日が増えました。寿光園でも食堂脇の機能訓練ホールにて職員がせっせと機材を組み立てて出してみました。利用者様も思わず見上げる大きさの七段のお雛様。一緒に並んで座ってもらい比べてもよくわかる大きさだと思います。車椅子を漕いで近づき「きれいだね〜」と身をのりだして手を伸ばす利用者様もおられました。ショートステイ利用者様も玄関から入ってきてびっくり。幾つにもなっても春は心躍り、桃の節句は嬉しいもの。また来年も飾らせていただきますので、利用者様と一緒に眺めてみてください。



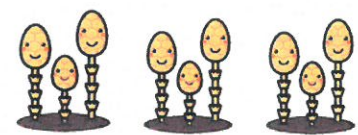
今年も豊かな寒川と、無病息災を行って

なかなか雪の降らなかったお正月、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。寿光園でも利用者様は「今年の冬はやけに暖かいね」と外を眺めながら職員と会話を交わす年末年始でした。のんびり過ごした三が日も終わり、小正月も近づいたある日、利用者様も一念発起してテーブルに向かいました。そうです、正月と言えば「団子刺し」ですね。団子に見たてた最中を枝に貼りつける延々とした作業を、慣れた手つきであつと言う間に完成させてしまった利用者様達。職員一同ただただ拍手するばかりでした。

「だるま市」行きましたか？

2月といえば「白河のだるま市」です。寿光園の利用者様の会話にも何度もあがりました。「昔は孫を連れて歩いた」と目を細めて昔話を話してくださいました。ダルマひとつにもたくさんの思い出があるんですね。

弥生をむかえて



日頃、皆様から頂戴しておりますご厚情に対しましてここに感謝申し上げます。
この冬は暖冬と言われる中、お正月を迎え、節分を過ぎ、時は早や桃の節句です。一方、東日本大震災、本県の前年事故後の問題山積、その後始末について国内外から注目を受けていますが、その処理、改善に向けて教智と実践努力の傾注により僅かずつでも前進が見られています。一日も早く、被災地における安全安心が取り戻されるよう着実な復旧復興を切に望みたいと存じます。
介護の仕事は、「利用者の尊厳を守ること」が必須です。また、介護職員は、利用者が今のような状況にあっても人として敬う気持ちが必要です。頭の中では理解していても慌ただしく業務に向かっていると“心にゆとりが持たず”利用者の尊厳を守ることができなくなることがあります。介護職員が常に“心”のゆとりを維持していくためには、介護員自身が自分で考える力を身につけることが必要といわれています。同時に、理論に基づいた正しい介護技術を学んでいく姿勢が大切になります。今後とも教育指導に努めて参ります。
さて、寿光園では感染症予防の観点から、主に冬季は面会場所を設けて面会いただくという制限をさせていただいております。お蔭様で、インフルエンザやノロウイルスの発症予防ができており、ご家族様にはご不便をおかけしますが今しばらくご協力をお願いいたします。

時代の趨勢から「18歳から投票権」の動きにより、今後若者の声が介護関連施策にも反映されてくるようになるでしょう。“良い種子蒔けば善果を齎す”と申しますが、若者の参画が様々な局面において善いうねりを生み、良い結果に結びつくことを願っています。皆様におかれましても、老人介護福祉並びに社会福祉法人関連における国の動向に対しまして関心をお持ちいただけますよう祈念します。本年は「サル年」、「病」がサル、「病気にマサル」といわれ縁起がいい動物です。
最後になりましたが、皆様方の無病息災を心から願ひまして挨拶とさせていただきます。

寿光園園長 黒河内 滋



デイサービスに来てみませんか?



「デイサービスセンター寿光園」
電話番号:0248-44-4220
担当:生活相談員 大木智徳里



早春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。3月とはいえ、まだまだ寒い日が続いていますが、施設の周りにも少しずつ草木が芽吹き、春の訪れを感じられる今日この頃です。

デイサービスセンター寿光園では、昨年末のクリスマス会、新年を祝う初釜、団子さし等季節の行事を行いました。行事を通じて利用者様の様々な表情を見ることができ、楽しんでいただけることは、何よりも私たち職員の励みとなります。新年度からも夏祭りや運動会、クリスマス会など様々な行事やレクリエーションを計画しています。

桜の便りが待ち遠しいこの頃、利用者様やご家族様におかれましては健康管理に十分注意しお元気に新年度を迎えられることをお祈りいたします。



○寿光園クリスマス会○

「メリークリスマス!」の掛け声で始まる冬の楽しいパーティ。今年も特別養護老人ホームとデイサービスセンターそれぞれで簡単なものではありますが、クリスマスのお祝いをさせていただきました。さてさて、今年のパーティメニューは

なんでしょうか。ピラフにグラタン、ミートローフもありますね。普段はあまり並ばない食事内容ですが、思い出してみれば、子供が好きそうな食べ物ばかりです。「子供の好物はハンバーグだったな」「孫はグラタンを喜んだな」食事ひとつで忘れていた思い出や、幼い頃のわが子の表情が心に浮かんでくることもあるのです。また来年も寿光園でクリスマスを祝いましょう。

クリスマスメニュー

- ピラフ
- ミートローフ
- グラタン
- サラダ・オムレツ



今年も皆様も御家庭では節分の「豆まき」を行いましたでしょうか。柵の枝にイワシの頭を刺して、家の戸口に飾る家はまだまだあるでしょうか?寿光園でもさすがに柵イワシの枝までは用意できませんが、本物さながらに赤鬼と青鬼が施設内を練り歩き、豆まきが行なわれ、午後の談笑を楽しませてくれました。デイサービスにも鬼は現れて「がおー!」と腕をふりあげて豆まき開始。驚かせてすみませんでした。

季節の変わり目だからこそ 風邪やインフルエンザにご注意を

- 予防接種しても数か月で効果が弱まる。
- 予防接種していても体調次第で罹患する。
- 治療した直後に別の型で罹患する事もある。
- 症状が出なくともウイルスに感染している場合がある。

寒さが続くなか、面会など寿光園に来院いただきありがとうございます。次第に暖かい日も増えて、いよいよ春も近づいてきましたが、インフルエンザ等の流行を見ながら、「面会場所の制限」は継続させていただきたいと思っております。

御家族様の協力もあり、幸いにもインフルエンザの発症者は今季ゼロにて経過しています。利用者様のみならず、寿光園全職員の体調管理もさらに徹底して介護業務に就いていきますので、今しばらくの御協力のほど、よろしくおねがいたします。

(寿光園感染症対策委員会)

「震災後6年目へ...」 3・11 東日本大震災を忘れないように



3月11日、寿光園では地震災害想定での避難訓練を行いました。徐々にテレビでの報道も減ってきたなか、私達のなかではまだ当時の記憶は色濃く残っています。入院患者や施設入所者は災害があっても気軽に避難所にはいきません。建物の安全性が分からなくとも必要な設備があるそこで、救助を待つしかない「災害弱者」の方がたくさんいることを痛感させられた震災でした。もう二度と遭いたくない、しかし次こそは当時よりも迅速に避難誘導を行えるよう今月も訓練に励んでおります。

担当者よりご家族様へ

入所者名: 様
担当職員:

